

令和7年9月 長崎港活性化対策特別委員会資料

クルーズ船受入態勢の強化について

目次	ページ
1 長崎港の概要・入港状況	2 ~ 5
2 長崎県・長崎市の役割分担	6 ~ 8
3 周遊促進・消費拡大の取組み	9 ~ 11
4 オーバーツーリズム対策	12
5 今後の動向	13
6 5月委員会時の質疑に対する回答	14
(参考)松が枝岸壁の2バース化について ...	15 ~ 18

文化観光部
令和7年9月

1 長崎港の概要・入港状況

(1)クルーズ船の受入施設について

ア クルーズ船が着岸できるバース

松が枝岸壁には16万トン級のクルーズ船

出島岸壁には7万トン級のクルーズ船

イ 松が枝岸壁には2つのターミナルビル(第1ビル:インフォメーション等、第2ビル:CIQ等)

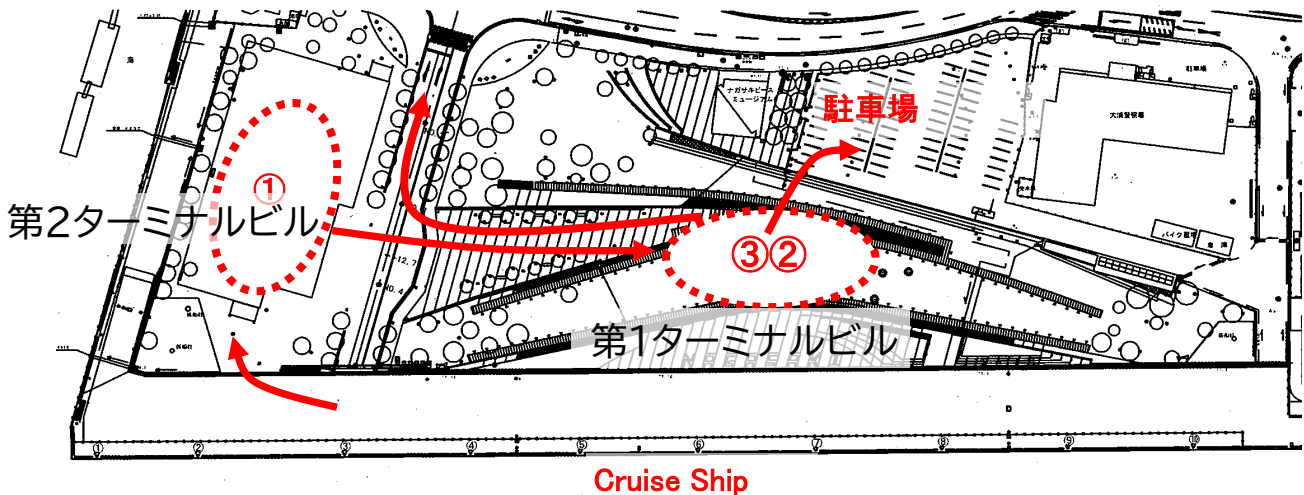
(出典:長崎県)



1 長崎港の概要・入港状況

(2)松が枝国際ターミナルの機能について

所管:長崎県
運営:指定管理者(長崎パークマネジメント共同事業体)
主な施設・設備:
ターミナルビル
・ホール(入港時:インフォメーション等を設置)
第2ターミナルビル
・CIQブース
駐車場(専用利用の場合 大型バス16台)



① CIQ ブース

・下船した乗客は第2ターミナルビルで
入国審査(最大20ブース)



機能	所管庁	内容
税関(Customs)	長崎税関	関税等の徴収や密輸出入の取り締まり
出入国管理 (Immigration)	福岡出入国在留管理局 長崎出張所	旅券(パスポート)や査証(ビザ)等の審査
検疫(Quarantine)	福岡検疫所 長崎検疫所支所	感染症などの国内侵入を防ぐための検査を行っており、人や食品、動植物の検査

② インフォメーションデスク (長崎港クルーズ客船受入委員会)

・観光案内
・路面電車1日乗車券の販売



③ ホール

・待合スペース
・お土産の売店
・外貨両替機
・wi-fi環境の提供



1 長崎港の概要・入港状況

(3) 日本国内におけるクルーズ船入港数

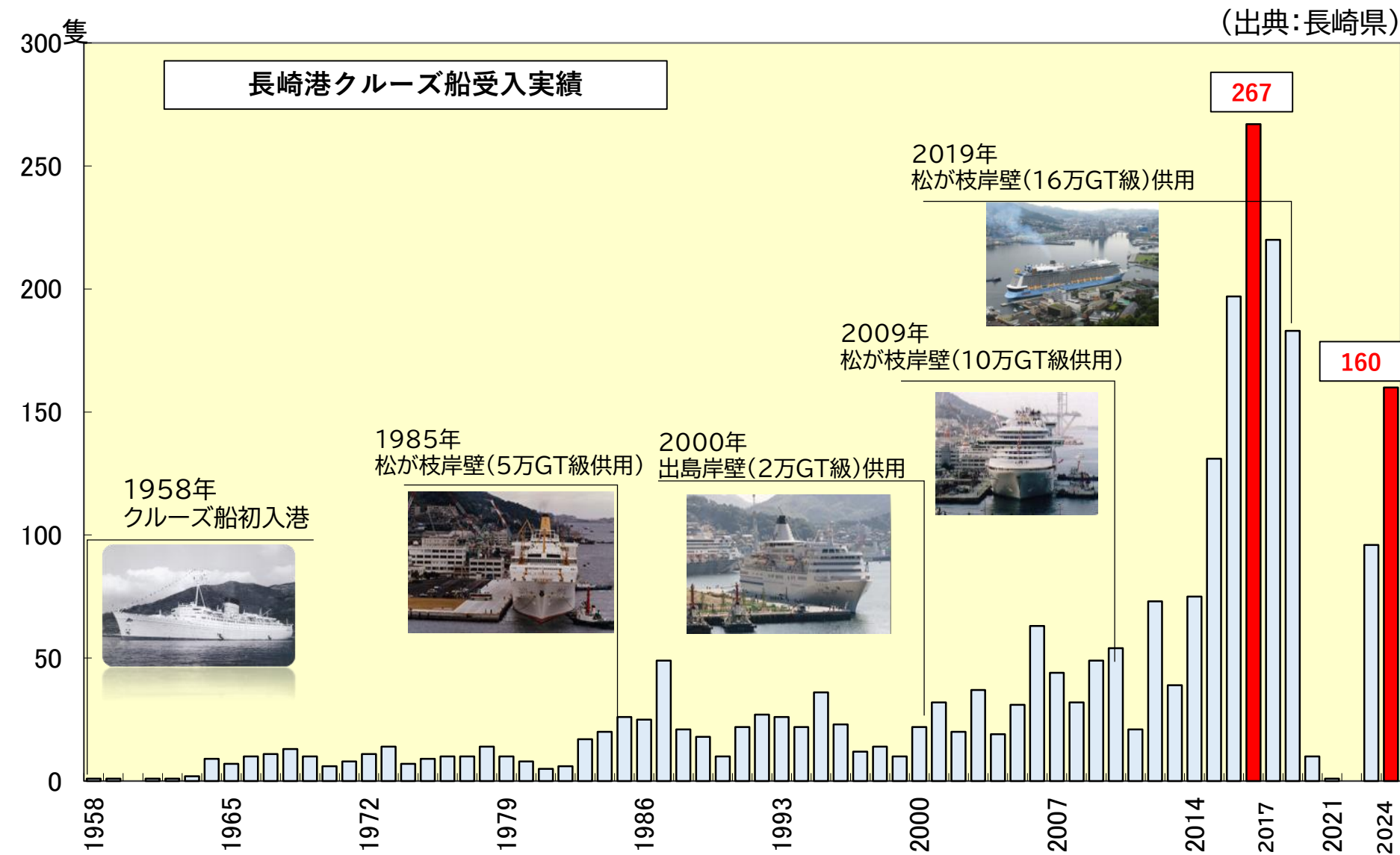
順位	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年	
	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数
1	博多	259	博多	328	博多	326	博多	279	那覇	260	ベラビスタマリーナ	53	ベラビスタマリーナ	82	ベラビスタマリーナ	93	横浜	171	博多	204
2	長崎	131	長崎	197	長崎	267	那覇	243	博多	229	横浜	47	横浜	72	横浜	82	長崎	96	那覇	175
3	横浜	125	那覇	193	那覇	224	長崎	220	横浜	188	神戸	29	神戸	24	神戸	57	ベラビスタマリーナ 神戸	91	長崎	160
4	那覇	115	横浜	127	横浜	178	横浜	168	長崎	183	厳島 那覇	19	厳島	18	小豆島	33	—	—	横浜	147
5	神戸	97	神戸	104	石垣	132	平良	143	石垣	148	—	—	笠島漁港	15	厳島	32	鹿児島	82	石垣	120
6	石垣	84	石垣	95	平良	130	神戸	136	平良	147	笠島漁港	16	名古屋	14	名古屋	22	那覇	79	鹿児島	105
7	鹿児島	53	平良	86	神戸	116	ベラビスタマリーナ	122	神戸	131	博多	14	大三島(愛媛県)	13	宮之浦	18	博多	75	神戸	95
8	佐世保	36	鹿児島	83	鹿児島	108	佐世保	108	鹿児島	106	大三島(愛媛県)	13	仁尾	12	大阪 竹原	14	広島	59	ベラビスタマリーナ	91
9	名古屋	34	佐世保	64	佐世保	84	石垣	107	ベラビスタマリーナ	100	犬島	12	大島	11	—	—	清水	58	清水	87
10	広島	32	広島	47	八代	66	鹿児島	100	佐世保	79	石垣 長崎	10	小大下島	10	清水	13	高知	53	東京 大阪 佐世保	72
	その他	488	その他	693	その他	1,133	その他	1,304	その他	1,295	その他	110	その他	149	その他	344	その他	1,033	その他	1,079
	合計	1,454	合計	2,017	合計	2,764	合計	2,930	合計	2,866	合計	352	合計	420	合計	722	合計	1,888	合計	2,479

出典:国土交通省 訪日クルーズ旅客数及びクルーズ船の寄港回数(2024年速報値)

1 長崎港の概要・入港状況

(4) 長崎港におけるクルーズ船入港数

1958年のクルーズ船初入港から、2025年3月末時点で、約2,500隻近くのクルーズ船が長崎港に入港。



2024年の入港実績

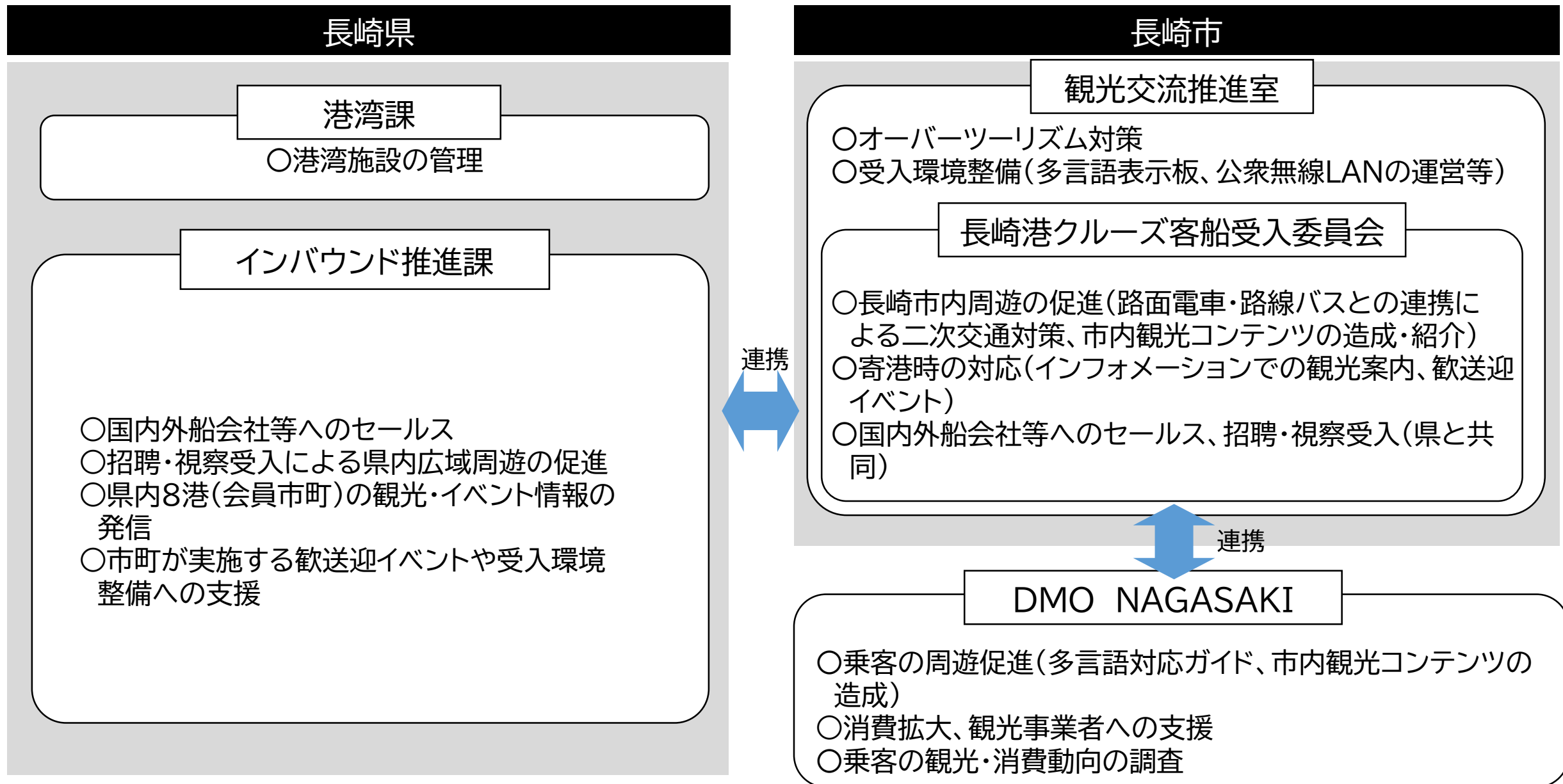
内容	隻数
入港数	160隻
オーバーナイト(停泊)	3隻
初入港船	13隻
イベント期間中の入港 〔長崎くんち ランタンフェスティバル〕	1隻 5隻

2025年の入港予定 (令和7年9月17日現在)

内容	隻数
入港予定数	203隻
オーバーナイト(停泊)	5隻
初入港船	16隻
イベント期間中の入港 〔長崎くんち ランタンフェスティバル〕	3隻 9隻

2 長崎県・長崎市の役割分担

(1) 役割分担



2 長崎県・長崎市の役割分担

(2) 長崎港クルーズ客船受入委員会の概要

ア 組織の概要

構成団体:観光・経済団体、船舶関係 7団体(会長:長崎市長) 賛助会員:交通事業者、観光施設など 18団体
予算額:30,780千円(うち長崎市からの負担金 9,800千円、長崎県からの負担金 9,600千円)

イ 主な活動内容



(ア) インフォメーション

○ボランティアガイドによる観光案内

ガイド:通訳ボランティア、大学生等から希望者を募集

対応言語:英語、中国語、ドイツ語 人数:5~10人体制

○観光マップの提供

対応言語:英語、中国語、韓国語、ドイツ語、フランス語

○路面電車1日乗車券の販売

(イ) 歓送迎イベント

○初入港等歓迎イベント

初入港や記念入港などの際、入港時の和太鼓演奏などの演出、船長等をお招きし、歓迎挨拶、記念品贈呈等をセレモニーを実施。
(令和6年度 14回実施)

○出港時イベント

出港時に、吹奏楽演奏、バトントワリング等による見送り、イベントを実施(夏・冬季、夜間出港時等は除く)。
(令和6年度 83回実施)



(ウ) 各種連絡会議への参加による意見交換、誘致セールス・視察対応(県との共同)など

2 長崎県・長崎市の役割分担

(3) 長崎県、長崎市による誘致活動



ア 誘致活動

クルーズ船の誘致にあたっては、港湾管理者である長崎県が主となり、国内外への船会社等へのセールス、旅行展への出展を行っている。

(令和6年度実績)

- ・セールス活動: 23回(国内外の船会社、旅行会社を対象)
- ・ツーリズムEXPO2024への出展ほか



イ 招聘・現地視察への対応

寄港地選定権のある海外船会社や旅行代理店、船舶代理店等の長崎視察を県・市合同で受入れ、観光スポットや飲食店等の案内、意見交換を行っている。

(令和6年度実績)

- ・国内外船会社及び旅行会社の招聘及び現地視察対応 7回

3 周遊促進・消費拡大の取組み

(1) 乗客の上陸観光の傾向について

ア 欧米系の乗客

- ・個人行動が多く、オプションツアーへの参加は少ない。
- ・路面電車の1日乗車券を購入し、大浦海岸通りから乗車することが多い。



イ 中国系の乗客

- ・ツアーバスによる団体行動が依然として多いが、個人行動が増えつつある。
- ・主な訪問地は、平和公園、郊外の免税店のほか、出島バス乗降場で降車し、新地橋広場から徒歩で新地中華街や浜町へ向かっている。
- ・いわゆる爆買いといわれる購買行動は、近年、縮小傾向にある。

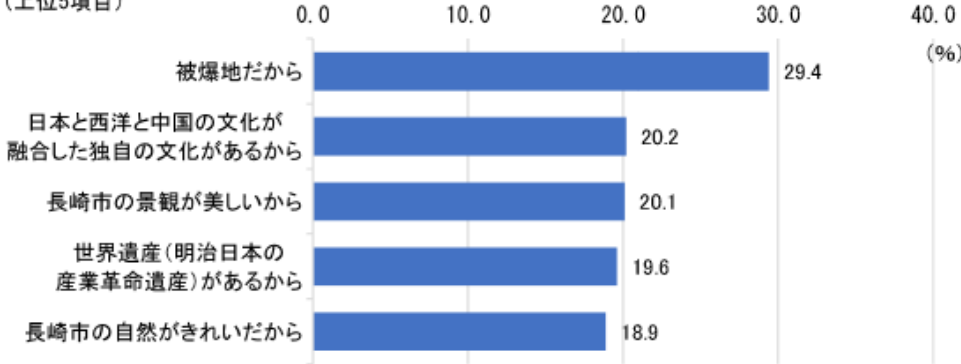


3 周遊促進・消費拡大の取組み

(2) 乗客の観光・消費動向について 出典:令和6年度クルーズ船調査報告書(サマリー)

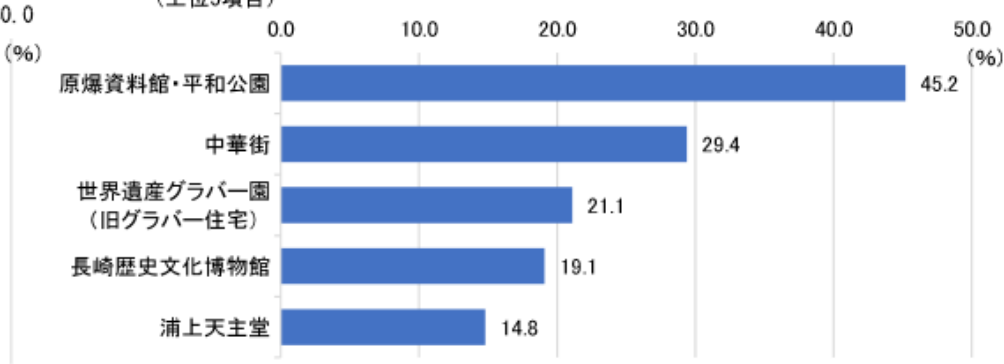
◎長崎市を含むクルーズを選んだ理由

(上位5項目)



◎長崎市内の訪問先

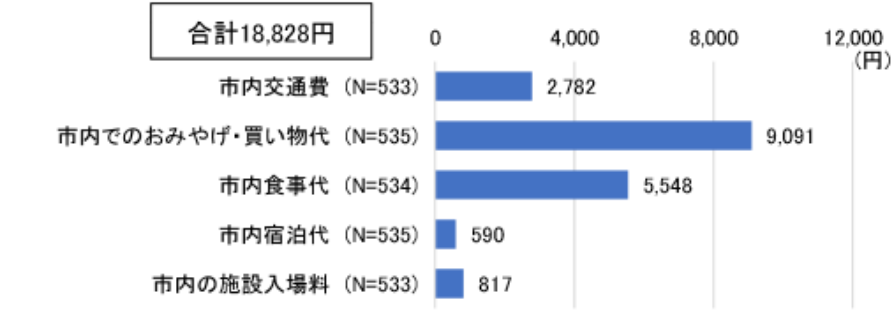
(上位5項目)



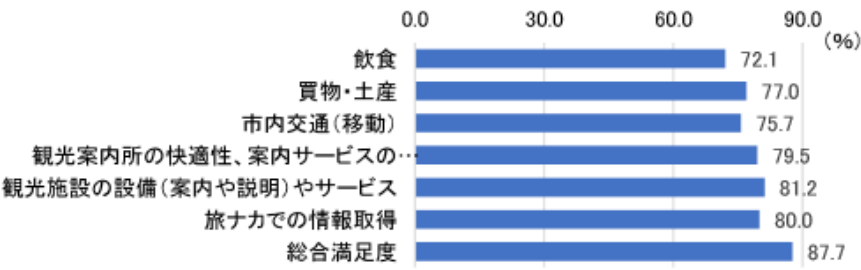
◎長崎市内での食事・購入したお土産(自由記述) ◎長崎市内での消費金額(0円を含む・無回答除く)

食事(上位7品目)	(人)
ラーメン	167
寿司	95
ちゃんぽん	44
アイスクリーム	25
うどん	17
焼肉	14
餃子	13

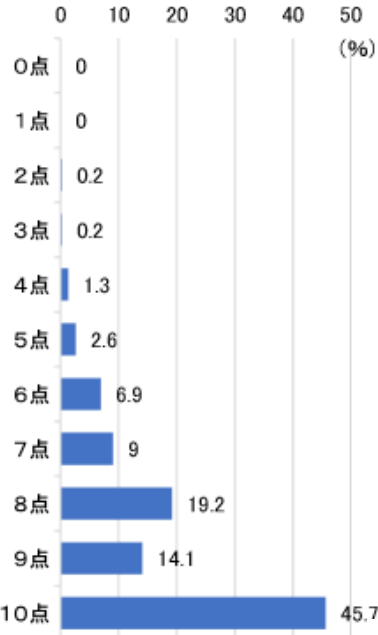
お土産(上位7品目)	(人)
マグネット	62
シャツ	31
カステラ	25
Tシャツ	21
服	16
ケーキ	15
お菓子	15



◎長崎市の観光満足度(満足+やや満足の割合)



◎長崎市の推奨度



3 周遊促進・消費拡大の取組み

(3) 事業者等の取組 ア 消費拡大の取組



○Nagasaki Crewの育成・ガイド活動

DMO NAGASAKIにおいて、日本観光振興協会の補助を活用し、令和5～6年度にかけ、クルーズ客を対象とした英語ガイドを育成。令和7年3月から活動を開始している。

(令和7年8月25日現在の実績)
育成人数:24名
活動回数:クルーズ客23回



○長崎検番in出島

鎖国時代で出島で披露されていた文化・芸能を長崎検番により再現し、長崎観光の振興を図る。(クルーズ船入港時に実施)

(令和6年度実績)
実施回数:12回
参加者:743名
(内外国人216名)

イ 周遊促進の取組

事業者	
長崎自動車(株)	ながさき観光ルートバスを乗り換えなしで、グラバー園バス停から原爆資料館バス停へ行けるようルートを見直し、利用促進のPRを実施。
(株)リージョナルクリエーション長崎	平和公園、原爆資料館とスタジアムシティを平和をテーマに連携した周遊マップを検討中。

4 オーバーツーリズム対策

(1) 交通混雑への対策

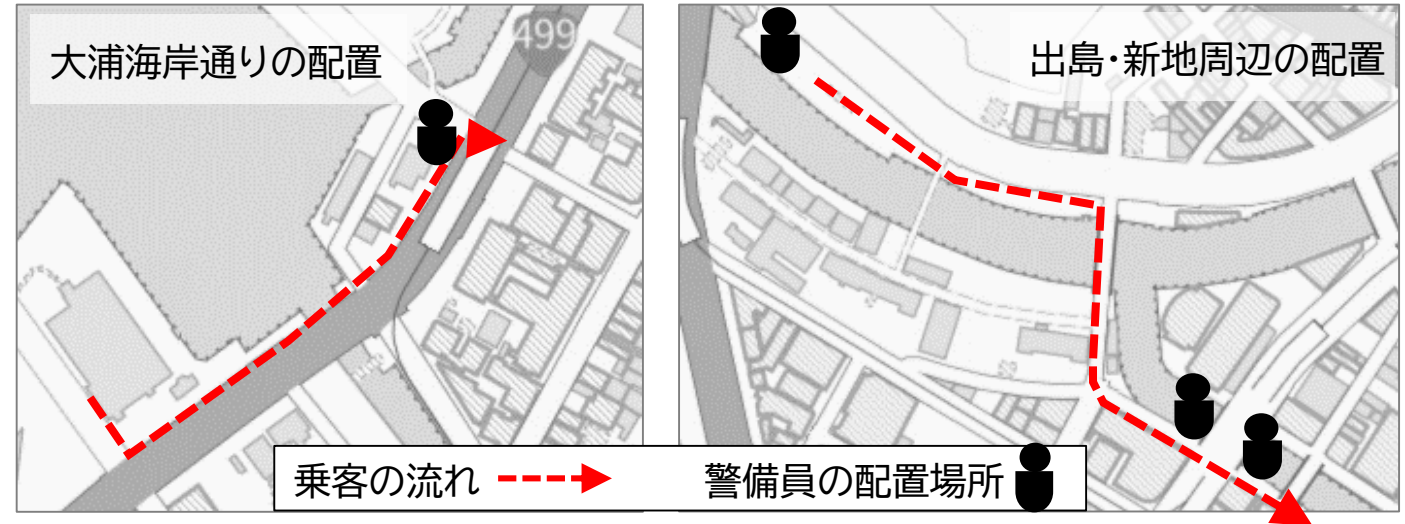
ア 交通警備員の配置

乗客が2,000名以上が見込まれる、または、2隻同時入港の場合、混雑が予想される場所に警備員を配置し、交通渋滞対策や安全確保を行っている。

(令和6年度76回実施)

○主な配置箇所

- ・大浦海岸通り電停前横断歩道
- ・新地セブンイレブン前横断歩道
- ・出島観光バス乗降場



イ ランドオペレーターへの依頼

バスツアーの集中による車両、乗客による混雑解消のため、バスツアーの訪問スポットや訪問時間を分散・周遊させ、混雑緩和への協力を依頼。

(2) ゴミのポイ捨てなど、マナー向上対策

- ・ランドオペレーターに対し、路上喫煙やゴミのポイ捨てに対し、マナー向上と、交通ルール順守について、ガイド及び乗客に周知徹底を依頼。
- ・外国語観光マップに、ゴミのポイ捨てと路上喫煙の注意喚起と、禁止区域等を掲載。

ランドオペレーター・・・旅行会社から依頼を受け、旅行先のホテル、レストラン、バス、ガイドなどの手配・予約を専門に行う会社。旅行会社と現地サービス提供者の間を仲介しており、海外の旅行会社が日本旅行を企画する際に、現地の詳細な手配を受託している。

5 今後の動向



「飛鳥Ⅲ」は、令和7年7月20日に就航し、本年10月に長崎港初入港が予定されており、長崎港クルーズ客船受入委員会として、歓迎イベントを予定している。

入港予定:令和7年10月7日(火) 9:00

歓迎行事:歓迎セレモニー、入出港時の演出を予定

(飛鳥Ⅲの概要)

令和7年7月20日に就航。郵政クルーズの34年ぶりの新造客船となり。「飛鳥Ⅱ」と合わせ、2隻体制での運航となる。

全長:230m 総トン数:52,265トン 乗客:740名 乗員:470名 船籍:日本／横浜



ダイヤモンド・プリンセスは令和7年に就航20周年を迎え、令和7年は14回、令和8年は24回の入港を予定している。

令和9年には姉妹船であるサファイア・プリンセスとともに、2隻合計で35回長崎への入港が予定されている。

(ダイヤモンド・プリンセス/サファイア・プリンセスの概要)

平成16年に2隻ともに就航。三菱重工業長崎造船所で建造された2隻の大型客船であり、ダイヤモンド・プリンセスは平成26年より日本発着クルーズに就航している。

全長:290m 総トン数:115,875トン

乗客:2,706名(サファイア・プリンセスは2,670人) 乗員:1,100名 船籍:バミューダ

6 5月委員会時の質疑に対する回答

質疑事項	回答
クルーズ船寄港が、平成29年の267隻をピークに平成30年、令和元年と減少していることの原因は把握しているか。 佐世保港では寄港数が増加しており、寄港数増減の原因を究明し、寄港数増加施策の参考とすべき。	コロナ禍により、クルーズ需要が減少したほか、市場の変化に伴い、中国発着のクルーズ船が減少している。 一方、佐世保市は、カーニバルコーポレーションとクルーズ拠点形成協定を結び、同社傘下の客船が優先的に寄港できるため寄港数が増加している。長崎市は県と連携し、受入体制を整備し、寄港促進に努めていく。
過去クルーズ船が多く来ていた時に、オーバーツーリズムがあったのかなかったのか把握して今後につなげて頂きたい。	以前から大型のクルーズ船寄港時など、局地的にオーバーツーリズムが発生していることから、乗客等の滞留エリアに警備員を配置し、安全確保に努めている。また、乗客の観光ツアーを行う旅行会社を通じて、マナー向上の周知を図っている。 今後も引き続き適切に対応し、安心・快適な環境づくりに努めていく。

(参考) 松が枝岸壁の2バース化について

(1) 長崎港松が枝地区旅客船ターミナル整備事業

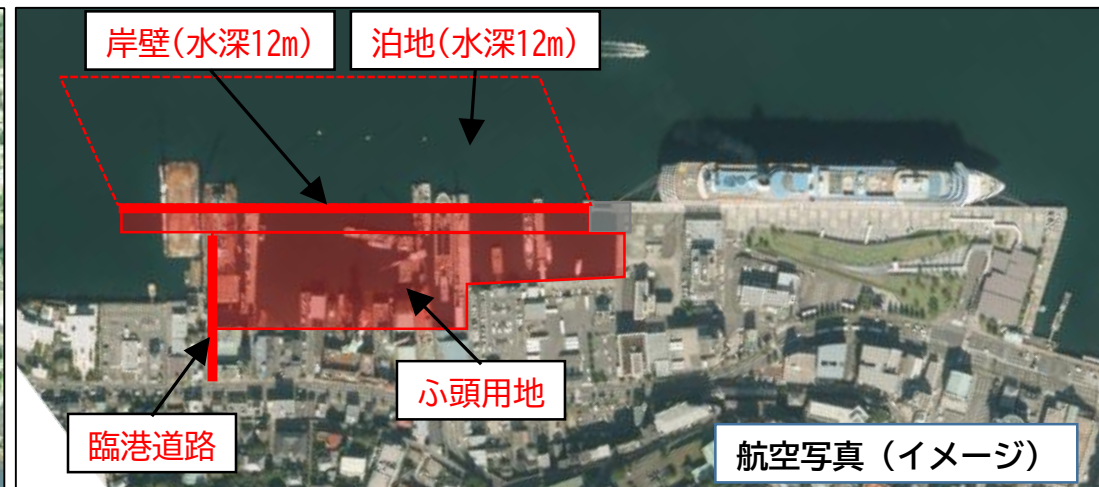
ア 目的

※現時点で公表されている内容であり、今後変更となる可能性があります。

長崎港松が枝地区において、大型クルーズ船に対応した岸壁（水深12m、延長410m）等の整備を行うことで、地域の経済活性化につなげるもの

イ 事業概要

施設	【国】岸壁(水深12m)：延長410m、泊地(水深12m)：1.3ha 【県】臨港道路：130m、ふ頭用地：2.7ha
事業期間	令和2年度～令和10年度
事業費	約172億円



(2) 松が枝周辺地区整備構想(令和5年11月策定)

松が枝国際観光船埠頭の2バース化の取組は、クルーズ船の受入拡大だけでなく、まちづくりにもつながり、地域の発展に大きく寄与することから、長崎県と長崎市において、地域住民や関係権利者などと意見交換を行いながら、松が枝周辺地区の土地利用の将来構想を策定するもの。

ア 松が枝地区の将来像

海の国際玄関口 ～歴史が繋ぐ・人が生み出す・まちが魅せる新ナガサキ～

イ 整備コンセプト

A クルーズ船の受入拠点となる国際ゲートウェイ機能の強化

海の国際玄関口として、クルーズ船2隻同時寄港に十分な入出国・税関審査ブース、ツアーバス駐車場等を確保し、インバウンドだけでなく発着港としても利用可能な基盤施設を強化する。

B 国内外の観光客の快適な移動を支える交通結節機能の強化

クルーズ船と陸上交通の接続を充実し、まちなかや南山手地区に円滑に移動できる各種交通と連携した利便性の高い交通結節機能を強化する。

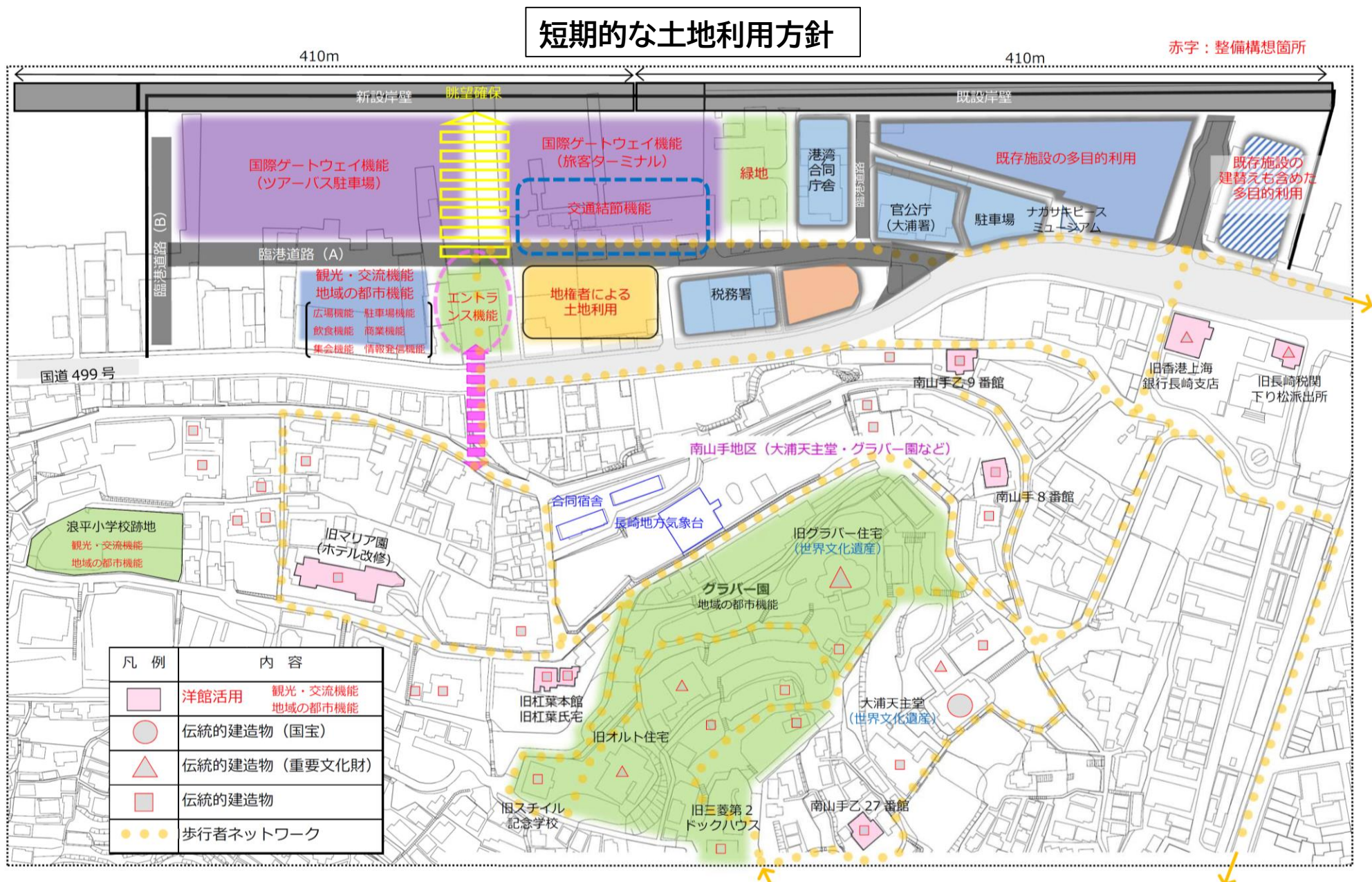
C 来訪者に充実したサービスと特別な空間を提供する観光・交流機能の強化

南山手地区やまちなかとの回遊性を高めて繋がりを強化するとともに、歴史的価値の高いみなとまちの魅力の磨き上げを図り、観光・交流機能を強化する。

D 地域の安心快適な暮らしを支える都市機能の強化

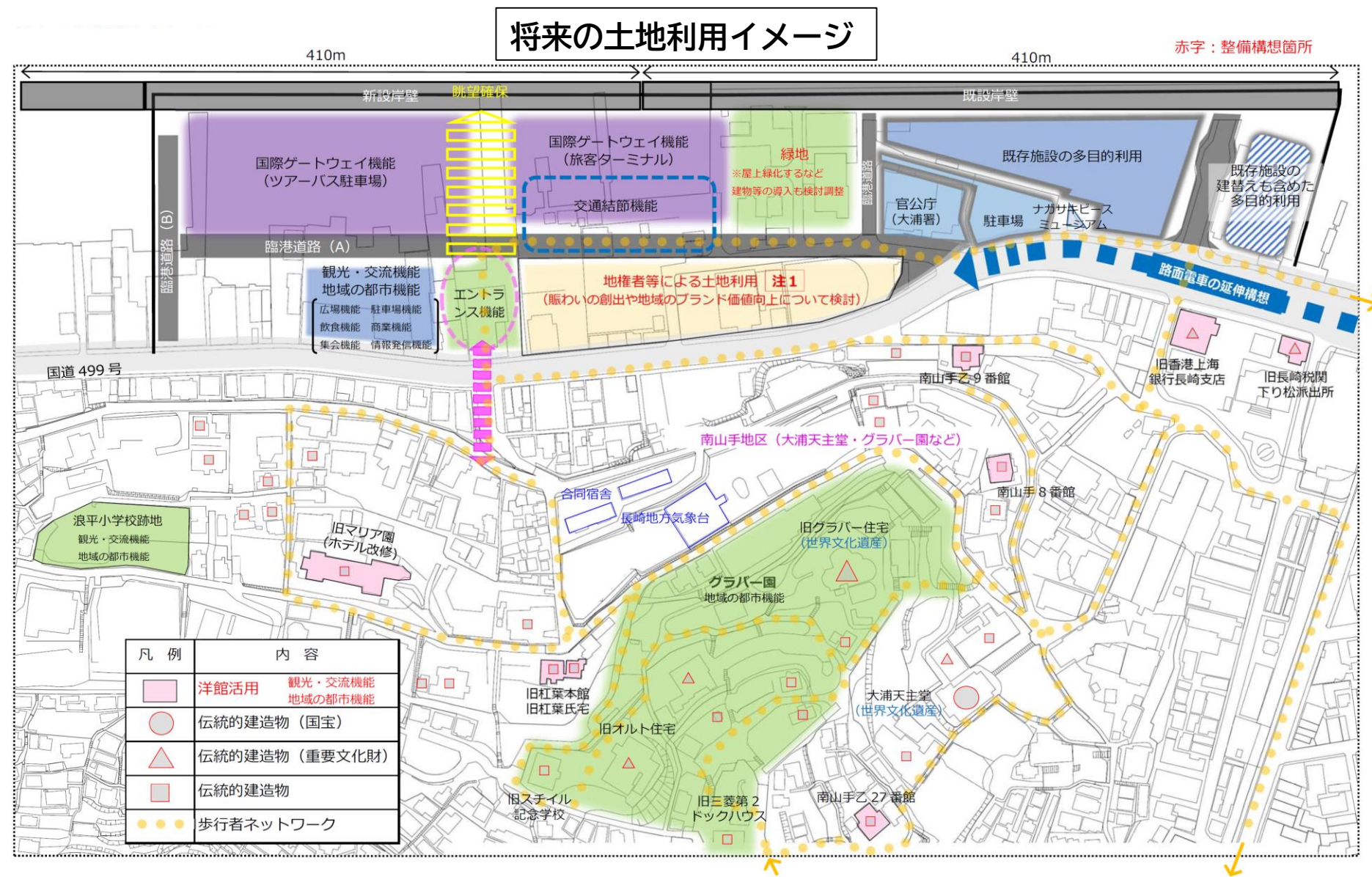
利便性の高い公共交通ネットワークの強化や生活利便施設等の立地誘導など周辺地域の多様な世代に配慮した地域の暮らしを支える都市機能を強化する。

(参考) 松が枝岸壁の2バース化について



出典：松が枝周辺地区整備構想(令和5年11月策定)

(参考) 松が枝岸壁の2バース化について



出典：松が枝周辺地区整備構想(令和5年11月策定)

注1 地区内の地権者や官公庁と土地利用の調整を行い、生まれた利用可能地において、地権者の意向を踏まえ、新たな賑わい創出や地域のブランド価値の向上につながる検討をしていく。
※地区内の官公庁には、合同庁舎化等についても働きかけていく。